広島県看護協会三次・庄原支部 広報誌

三次・庄原支部だより

MIYOSHI ・ SHOBARA

vol.34
2023.11

広島県看護協会三次庄原支部会員数

保健師	12名	(入会率 15%)
助産師	35名	(入会率 97%)
看護師	748名	(入会率 69%)
准看護師	42名	(入会率 8%)
会員合計	837名	(入会率 49%)

理事・役員紹介

ご挨拶

広島県看護協会
支部担当理事 **阿川 純子**
[市立三次中央病院]

少子高齢化や感染症・災害対策など多くの課題がありますが、「県北地域の看護職の連携の強さ」を力にして、これからも住み慣れたこの地域で活き活きと働き続けられる環境づくりに貢献していきたいと思います。

ご挨拶

三次・庄原支部
支部長 **寺本 辰美**
[庄原赤十字病院]

今年度は、病院・施設・在宅における質の高い看護の提供や多職種連携による地域ネットワークの推進、看護職の量の確保と質向上を取り組みます。あらゆる場で看護を提供できる組織として会員の皆様とともに取り組んでいきたいと思います。

ご挨拶

三次・庄原支部
教育担当 **須原 麻砂江**
[広島県立三次看護専門学校]

今年度より支部役員として教育を担当させて頂きます。看護研究サポート事業やBLS研修など教育研修事業を通じて支部会員の皆様に貢献できるよう努力してまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶

三次・庄原支部
財務担当 **藤井 亮子**
[市立三次中央病院]

今年度より財務を担当させていただくことになりました藤井亮子です。

微力ながら支部活動のお役に立てるよう努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

三次・庄原支部役員

- 前列左より
  佐藤　寺本　阿川　藤井　須原
- 後列左より
  鯰谷　新川　日高　濱田　槙原　伊折

地域のトピックス

よりあい処かなう

医療法人社団　岡崎医院
看護小規模多機能型居宅介護　管理者　櫻　裕子

当施設は、令和5年5月8日に三次市にオープンしました。

「かなう」は漢字で『協』と書きます。

専門職が協同するだけでなく、スタッフ、利用者、地域の方が同じ目的で得意分野を活かし、一緒に力を合わせて地域を作っていくことを目的に名付けられました。

岡崎医院の理念に「その人らしく、生きる力に寄り添うチカラ」があり、【高齢であっても障害があっても、人それぞれの生き方や暮らし方を大切に、自分らしく生きていけるよう自立支援と地域のつながりを大切に、支え合える関係と安全な環境づくりを進めます。】という目指す姿があります。

要介護者本人とご家族のニーズに応え、看護師・介護士による「訪問」、「通い」、「泊まり」を組み合わせて、可能な限り自立した日常生活を送ることができるようサービス提供をしていきたいと思います。

現在利用者は27名で、退院後の自宅準備中のための泊まり利用者もいらっしゃいます。地域の医療を受け持つ介護保険事業所として、いつでも寄り合え、語り合え、支え合える地域の拠点として取り組んでいきます。どうぞ見学においでください。

海外からの技能実習生

ビハーラ花の里病院
看護部長　高橋　弘子

医療法人微風会では2020年より海外からの技能実習生12名を受け入れています。

ビハーラ花の里病院ではカンボジアからの技能実習3期生4名、5期生2名の計6名が病棟の看護補助者として勤務しています。

日本の文化に大変興味を持ち、日本での介護の仕事を選び、働くことを楽しみに来られました。

いつも笑顔で患者様に明るく優しく対応する姿は他のスタッフにも良い影響があり、職場の雰囲気も明るくなり患者様からも大変喜ばれています。

日本語と介護の基礎知識を今後3年間学び活躍されることを応援しています。

事業報告 ～令和4年度後半から5年度～

まちの保健室

庄原赤十字病院　佐藤　美樹

地域看護事業として、地域の集会所やサロンに出向いて、地域住民を対象に健康指導、健康相談を行っています。地域住民の希望や、時期によって内容を決めており、これまで「熱中症予防」「骨粗しょう症について」「災害時の避難行動」「腎臓病予防」など様々なテーマで実施しています。

今回、庄原市の集会所で、認知症看護認定看護師の西野沙緒里さんを講師に、「認知症」をテーマに実施しました。

地域住民約30名に認知症の症状やどのような対応をしたらいいのか、予防について説明しました。その後、自分たちが認知症になったらどのようなタイプになるのかをクイズ形式で行いました。

終わりには「地域でお互いに支え合おうね」と声があり楽しい時間になりました。

研修会が終わった後も、困っていることを相談されるなど、有意義な内容でした。中国新聞にも掲載され、広く活動を知ってもらう機会となりました。今後も地域に出向いて看護協会としての活動を広め地域住民の健康、疾病予防に努めていきたいと思います。

ーまちの保健室ー
三良坂福祉センターー

ーまちの保健室ー
高門多目的研修集会所

ーまちの保健室ー
畑原集会所

令和5年度 第1回多職種連携会議研修会

「中山間地域におけるこれからの地域包括ケア」～人口減少を乗り越える～

訪問看護ステーション　相扶　新川　蔦子

地域を次世代に残すために、地域包括ケアをもう一度みんなで考えてみませんか。と問題提示されて始まりました。講師は兵庫県立大学小山秀夫先生です。ビッグデータと地域の現状・課題・今後の方向についてと考えさせられる内容でした。

- 庄原市の65歳以上は44.2%、100歳以上は103人（男性18人、女性83人）少子高齢化が進んでおり庄原市の人口ビジョンは希望的観測？かも
- 庄原市の25歳から60歳までの女性就業者の約1/3は医療・福祉職であることの理解が必要である。
- 有用な人材確保するために、コミュニケーション・リスペクト・組織内有用感が3種の神器である。
- 地域の将来性を示すためには、ここにいても大丈夫と思うために①子育てと医療②教育③災害対策が必須である。

●デジタルトランスフォーメーション

個々が、組織が、地域がActionを起こすこと。「皆で腹を括ってなんとか自分たちでやるしかない、話し合わなければ前に進まない」と思いを持ち知恵を出し合い繋がることが、地域包括ケアを進めていくことになると感じました。

令和5年度事業予定

実施年月日	事業	場所
令和５年６月 10 日（土）	看護研究サポート研修会	三次地区医療センター
令和５年７月８日（土）	多職種連携会議研修会 「中山間地域のおけるこれからの地域包括ケア」	庄原グランドホテル
	BLS 研修会（庄原会場）	庄原赤十字病院
令和５年７月 29 日（土）	BLS 研修会（三次会場）	市立三次中央病院
令和５年８月２日（水）	進路相談会	三次地区医療センター
令和５年８月３日（木）	進路相談会	庄原赤十字病院
令和５年９月 16 日（土）	社会経済研修会 『2040 年に向けて県北の看護を考える』	庄原赤十字病院
令和５年 11 月	支部だより発行	
令和５年 12 月９日（土）	組織強化研修「ストレスマネージメント」	市立三次中央病院
令和６年２月	看護研究発表会	市立三次中央病院

New Face!

頑張っている新人看護師紹介！

ビハーラ花の里病院

看護師　川野　美咲

出身地が他県なこともあり、三次は初めて来た地域でした。不安なことも沢山ありましたが、スタッフの皆さんに助けていただき日々業務にあたっています。看護師を目指し始めた時から緩和ケアや終末期医療に携わりたいと思っていました。調べていく中で仏教の力をえて患者さんの苦痛を緩和している病院があると知り、私のやりたかった看護ができると思いビハーラ花の里病院に就職しました。

患者さんと院内の仏間にお参りに行った際「仏さんを拝めて良かった」と嬉しそうに笑ってくださる様子を見て、ここに来て良かったと思えました。

これからも患者さんや家族に寄り添い続け、心身の苦痛を和らげられるような看護師になれるよう頑張ります。

看護師　深水　真歩

看護師として働き約4カ月が経ちました。コロナ禍で臨地実習の経験が少なく、技術面や患者様との関わり方に不安がありましたが、プリセプターや病棟の先輩が丁寧に教えてくださり、少しづつ成長させていただいています。

まだまだ分からないことが多く、悩んだり失敗することもありますが、患者様の笑顔や元気になられる姿を見て私自身も元気づけられています。

今後も、患者様の安全・安楽を第一に自ら学びの姿勢を大切にしていきたいです。

そして、患者様一人一人がその人らしく療養生活を送れるよう、日々の関りから小さな変化に気づき、寄り添える看護を提供していけるよう頑張ります。

編集後記

行動制限が緩和され、支部活動が徐々に出来るようになってきました。これからも支部活動が広がり、皆様のお役に立てればと思います。

社経：伊折

［発　行　日］令和5年10月30日発行
［発行責任者］寺本 辰美
［発　行　所］公益社団法人広島県看護協会 三次･庄原支部
〒727-0013 広島県庄原市西本町2-10-2 OKUDAハウス101
TEL/FAX:0824-72-5015　E-mail: s-miyoshi@nurse-hiroshima.or.jp